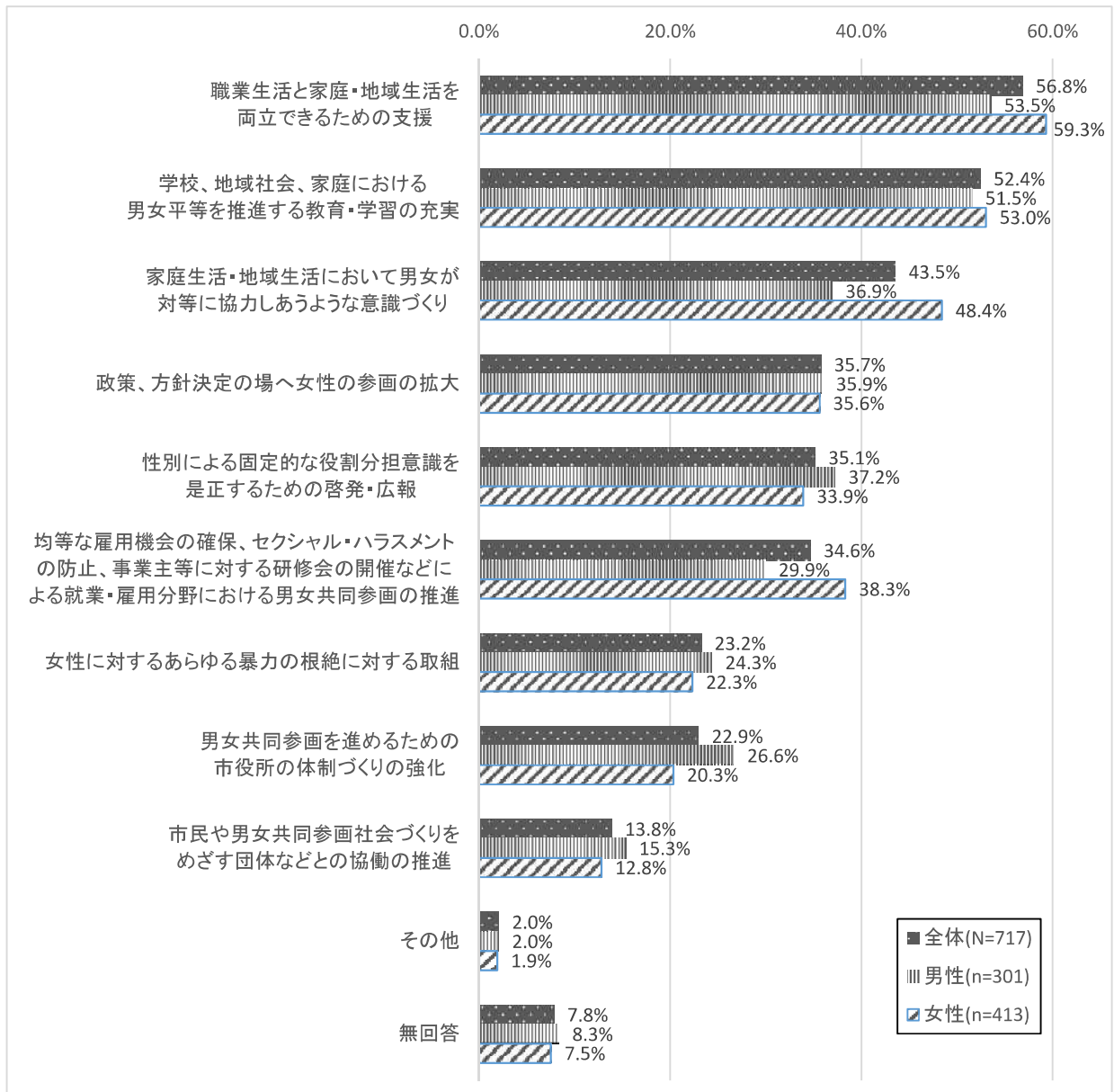
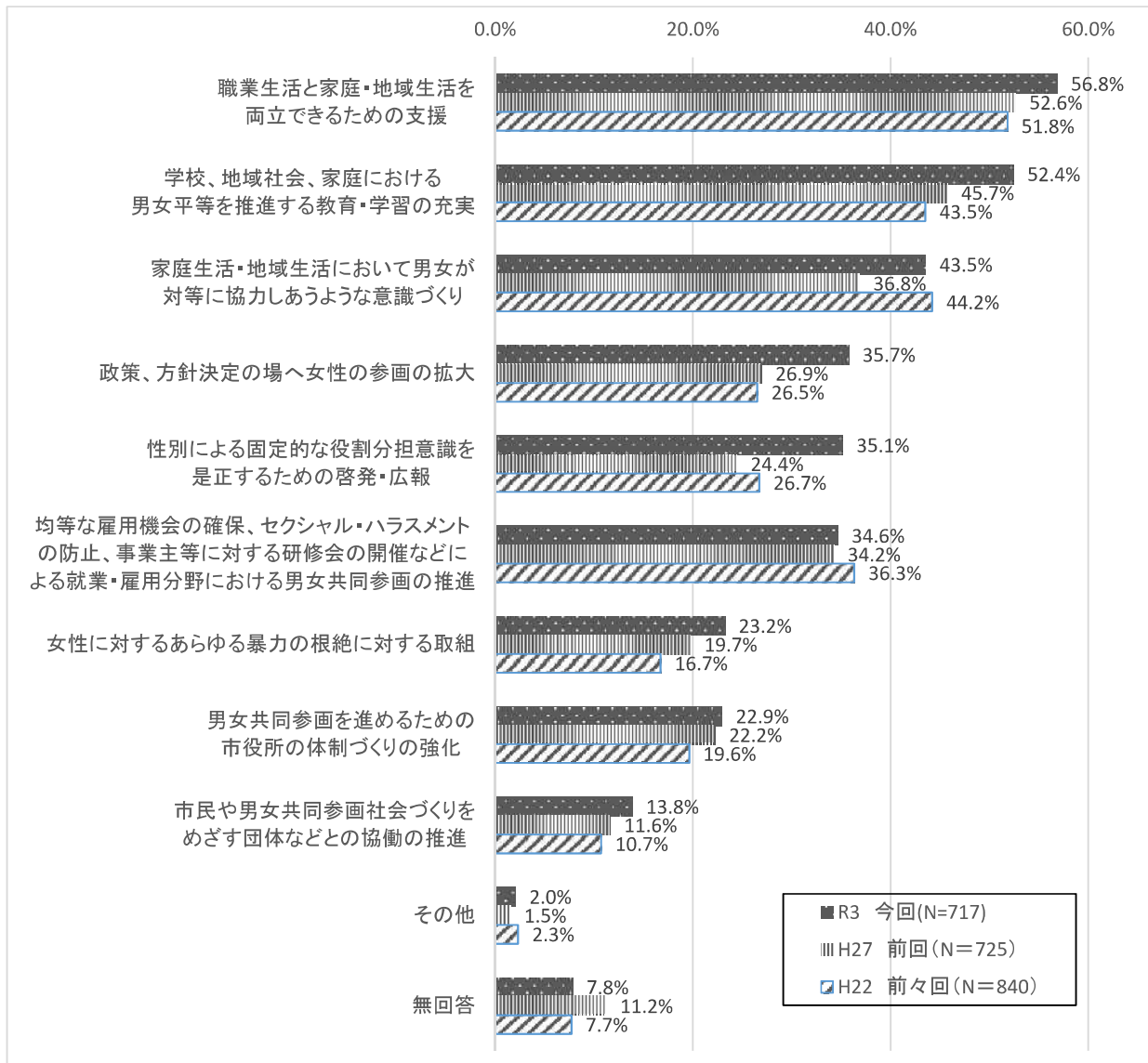


(1) 行政が男女共同参画社会形成のために力を入れるべき施策

問23 男女共同参画社会を実現するために、行政が力を入れるべきことは何だと思えますか。次の中から選んで○で囲んでください。(いくつでも)



<前回・前々回との比較>



【全体】

○「職業生活と家庭・地域生活を両立できるための支援」と回答した人の割合が **56.8%**と最も高く、次いで「学校、地域社会、家庭における男女平等を推進する教育・学習の充実」が **52.4%**、「家庭生活・地域生活において男女が均等に協力しあうような意識づくり」が **43.5%**と続いている。

【階層別傾向】

<性別>

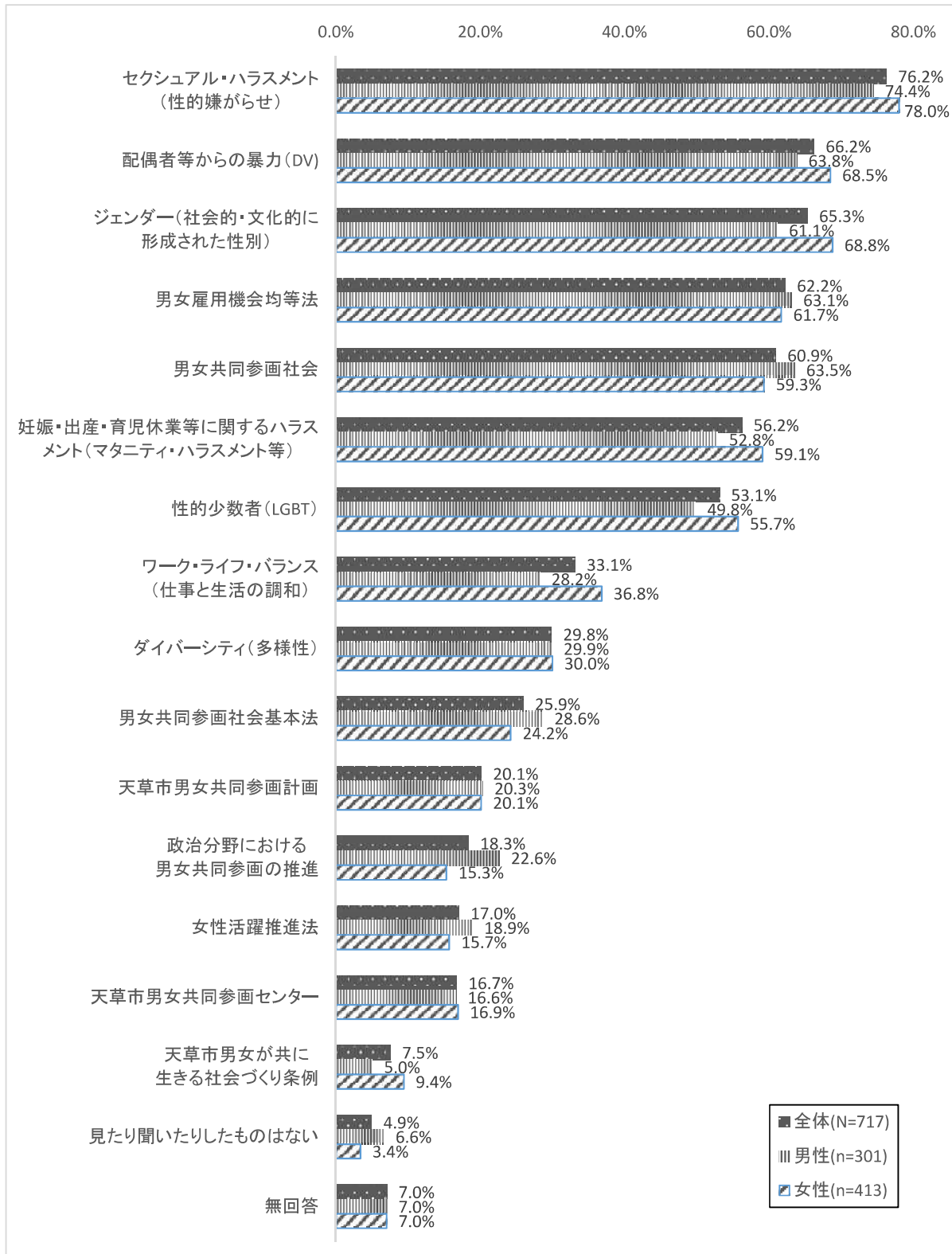
○「家庭生活・地域生活において男女が均等に協力しあうような意識づくり」と回答した人の割合は「女性」で **48.4%**となっており、「男性」の **36.9%**を **11.5**ポイント上回っている。

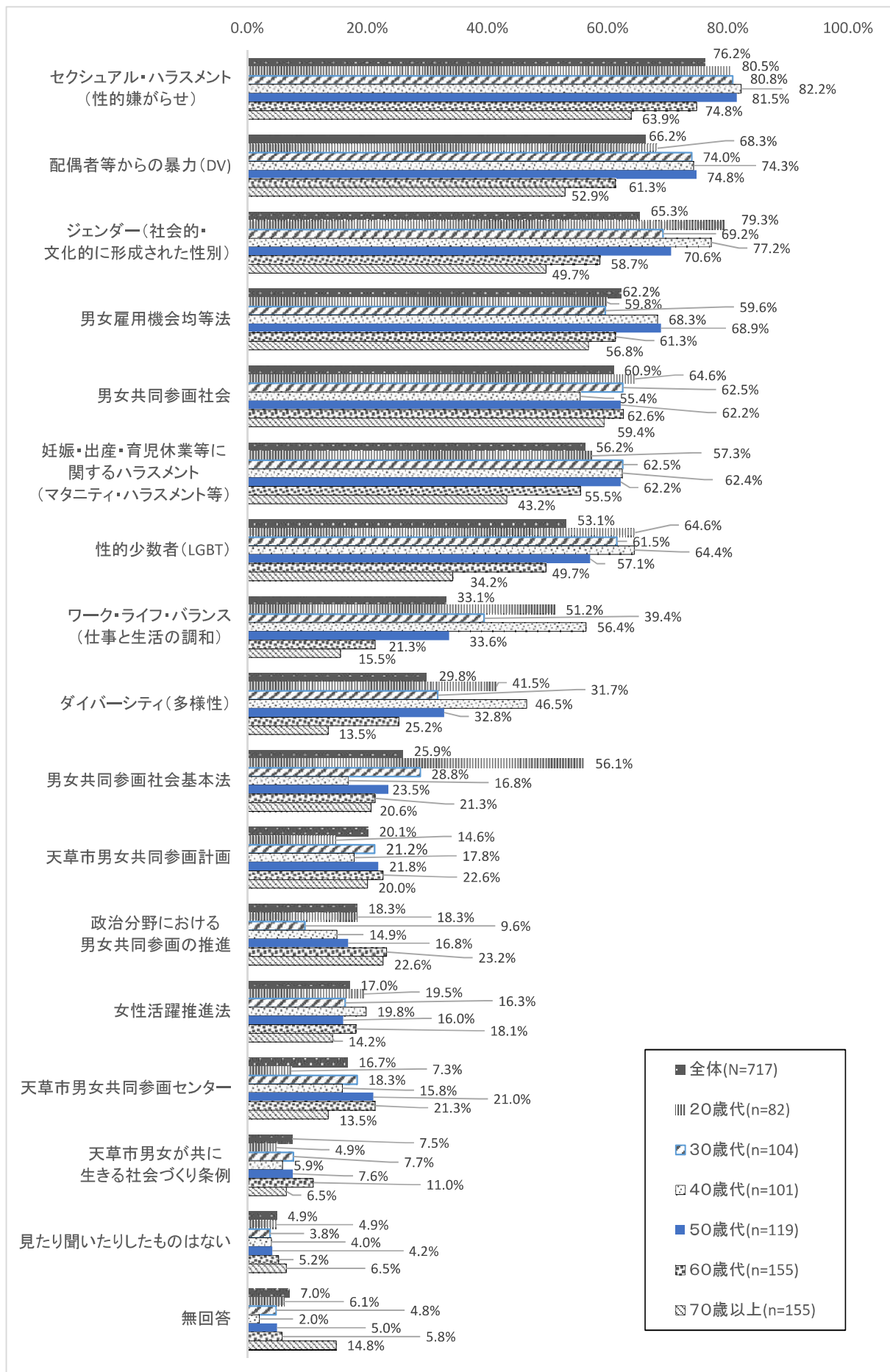
【前回・前々回との比較】

○「政策・方針決定の場へ女性の参画の拡大」と回答した人の割合は **35.7%**となっており、前回比 **8.8**ポイント増、前々回比 **9.2**ポイント増と増加傾向にある。

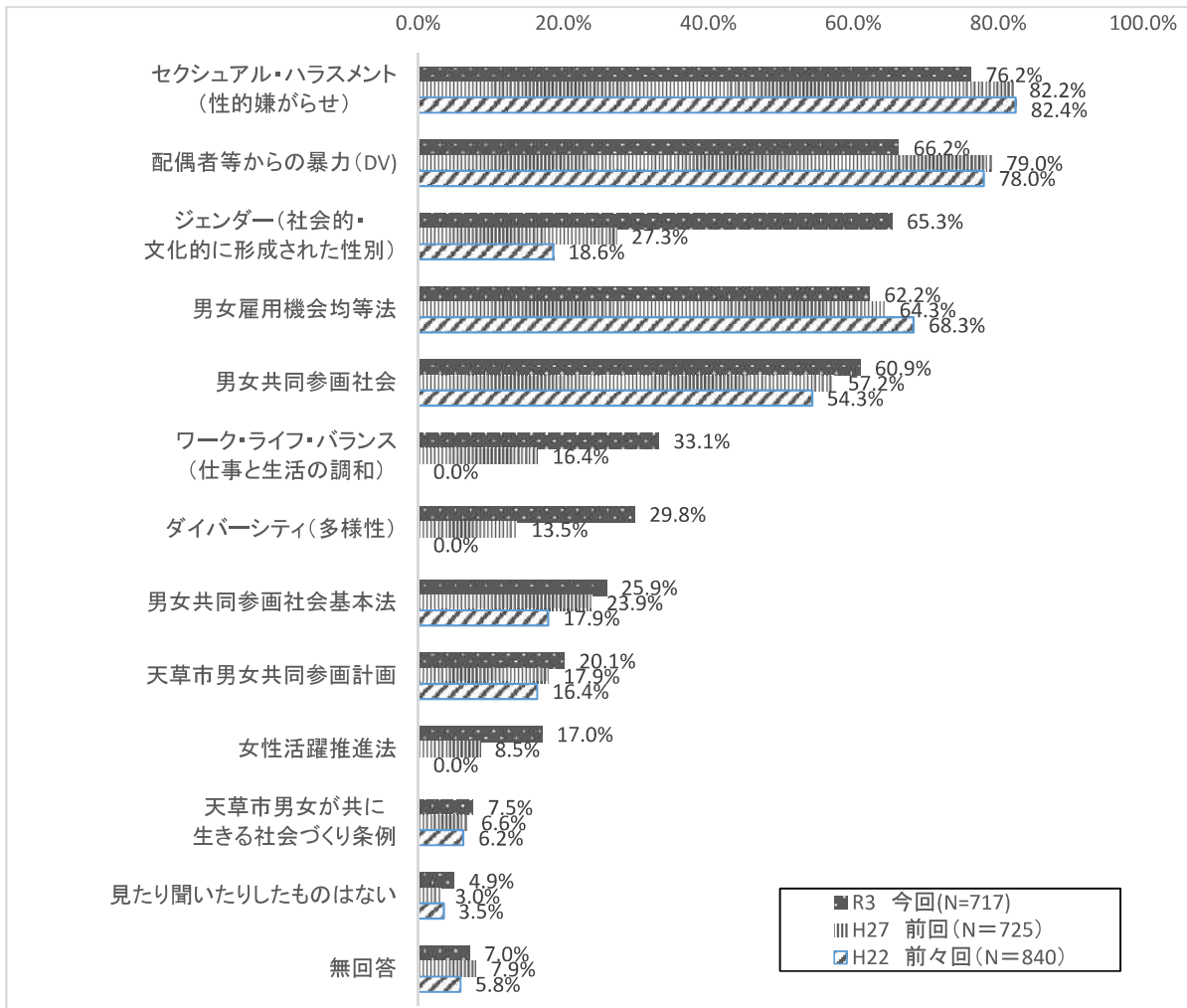
(2) 男女共同参画に関する用語の認知度

問 2 4 次の言葉のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものをすべて○で囲んでください。





<前回・前々回との比較>



※前回・前々回の数値は選択肢があった項目のみ表示している。

【全体】

- 「セクシュアル・ハラスメント」と回答した人の割合が 76.2%と最も高く、次いで「配偶者等からの暴力」が 66.2%、「ジェンダー」が 65.3%と続いている。
- 「見たり聞いたりしたものはない」と回答した人の割合は 4.9%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 「ジェンダー」と回答した人の割合は「女性」で 68.8%となっており、「男性」の 61.1%を 7.7 ポイント上回っている。

<年代別>

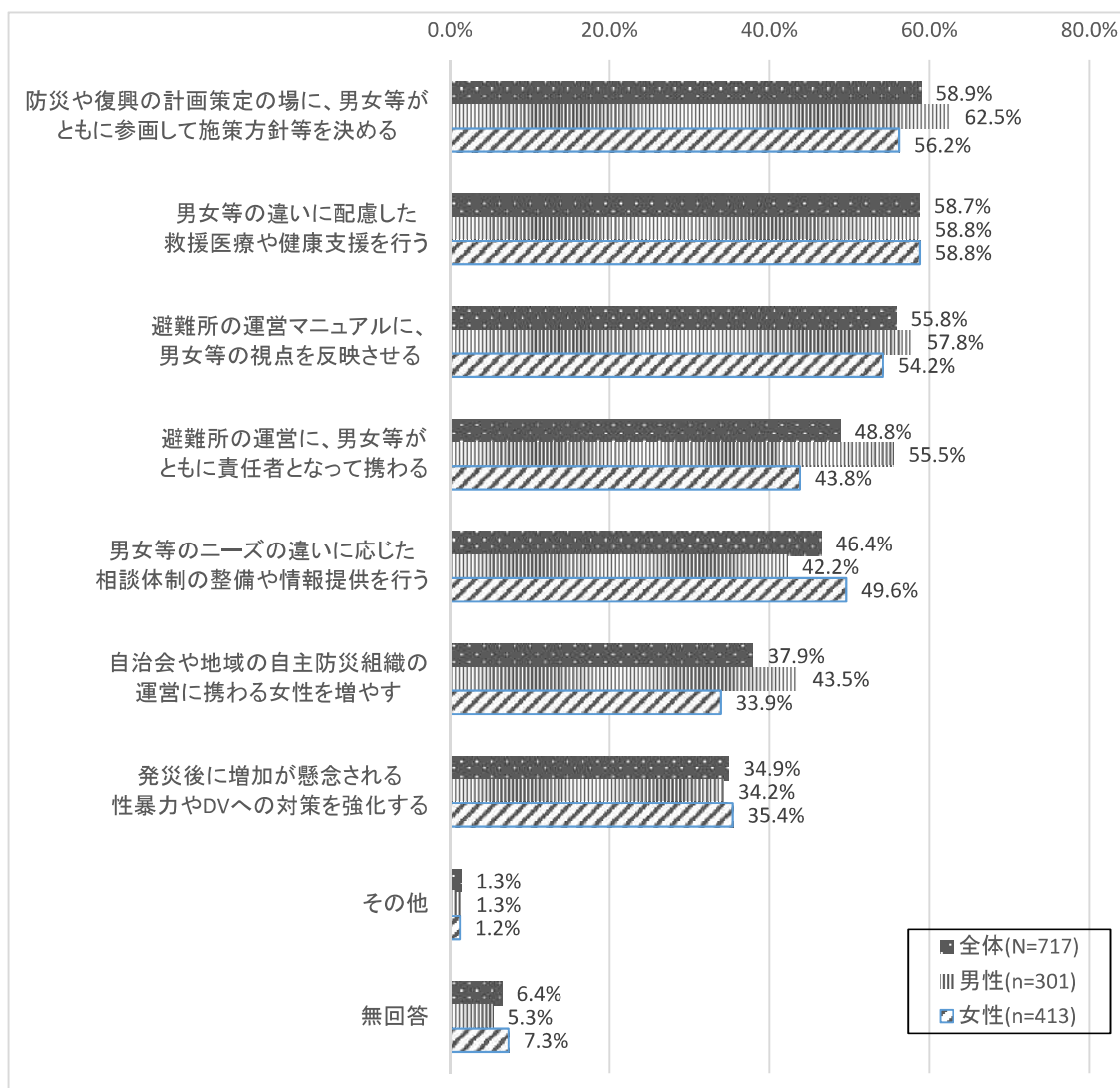
- 「男女共同参画社会基本法」と回答した人の割合は「20 歳代」が 56.1%と最も高くなっている。

<前回・前々回との比較>

- 「ジェンダー」と回答した人の割合は 65.3%で前回比 38.0 ポイント増、前々回比 46.7 ポイント増と特に大きく増加している。

(3) 大規模災害に備え男女共同参画の視点から見た必要な取組

問 2 5 今後の大規模災害に備え、「男女共同参画の視点」から見た取組について必要と思うものを次の1～8の中から選んで○で囲んでください。(いくつでも)



【全体】

- 「防災や復興の計画策定の場に、男女等がともに参画して施策方針等を決める」と回答した人の割合が58.9%と最も高く、次いで、「男女等の違いに配慮した救援医療や健康支援を行う」が58.7%、「避難所の運営マニュアルに、男女等の視点を反映させる」が55.8%と続いている。

【階層別傾向】

<性別>

- 「避難所等の運営に、男女等がともに責任者となって携わる」と回答した人の割合は「男性」で55.5%となっており、「女性」の43.8%を11.7ポイント上回っている。